

岐阜市の5中学に フリー室備品贈る

岐阜信金と16社

岐阜、愛知県の企業16社と岐阜信用金庫は、岐阜市の中学校5校に整備される「校内フリースペース」で使用する備品(計80万円相当)を市に寄贈した。

校内フリースペースは、不登校などの経験がある児童、生徒が校内で過ごす場所として、市内の中学校に2023年度から整備。本年度は新たに5校が加わり計10校となった。備品は、1人で過ごすことができる



柴橋正直市長に寄付目録を手渡した岐阜信用金庫の光崎修専務理事(右)＝岐阜市役所

ように仕切るためのパーティション、椅子など。

市役所で行われた贈呈式では、同金庫の光崎修専務理事が、柴橋正直市長に目録を手渡した。光崎専務理事は「全ての子どもたちに笑顔ですくすく育ってほしい」と述べ、柴橋市長は「これからも地域への温かい支援をお願いしたい」と感謝した。

発行額の0・1%に当たる金額を、子育てや教育などに関わる団体に寄付する「ぎふしんSDGs私募債(子育て支援型)」を活用した。(小田香緒里)